

未来に引き継ぐ



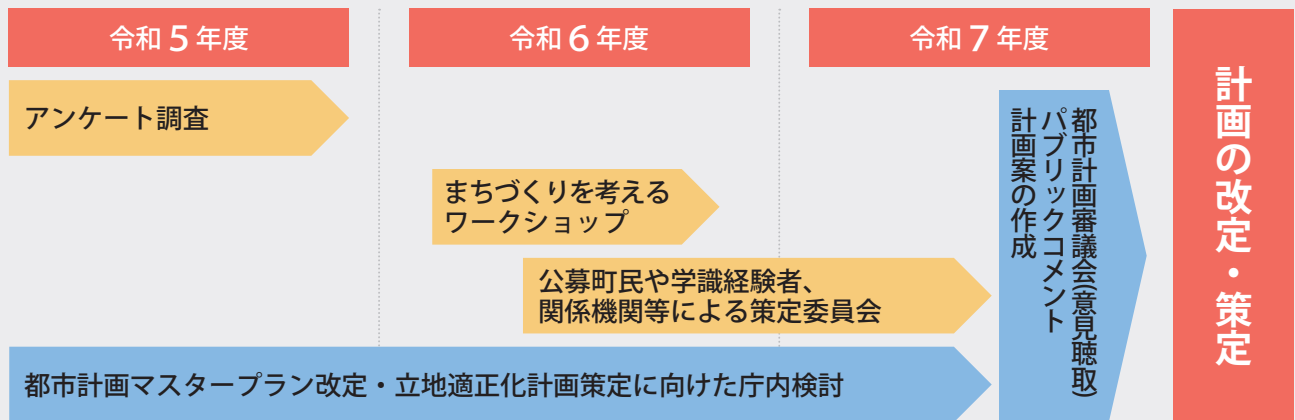
これからのまちのかたち②

都市計画マスタープラン改定と立地適正化計画策定 に向けたアンケート結果をご紹介します！

町では、人口減少社会に対応した持続可能で将来にわたり暮らしやすいまちづくりを進めていくため、都市計画マスタープランの改定と立地適正化計画の策定に取り組んでいます。計画の策定にあたって、町民の生活実態やまちづくりに対する評価や考え方を広く把握するとともに、住民ニーズに沿った施策を立案するためのアンケート調査を実施しました。今回はアンケート調査の結果(一部抜粋)をご紹介します。

町 建設水道課 調査計画係

◇計画策定のスケジュール ※スケジュールは進捗により変更になる場合があります。



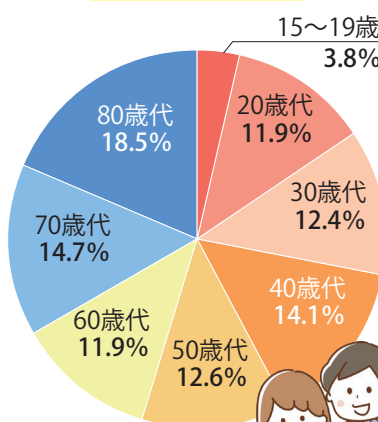
◇アンケート結果(一部抜粋)

住民基本台帳における中学生を除く15歳以上の町民1,500人を対象に、計画の改定・策定に関するアンケート調査を実施し、527件の回答をいただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

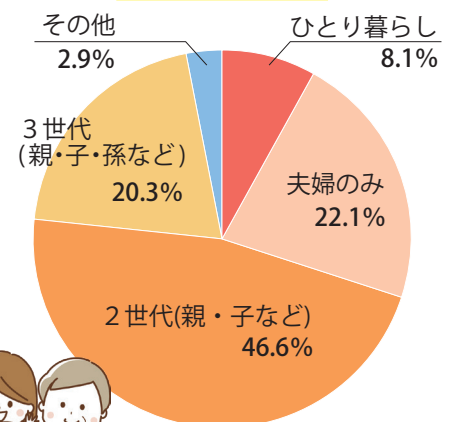
【調査概要】

- 調査期間：令和5年10月19日～11月6日（※11月24日まで延長）
- 調査対象者：中学生を除く満15歳以上の町民1,500人
- 回収数：527人（回収率35.1%）

回答者の年齢構成



回答者の家族構成



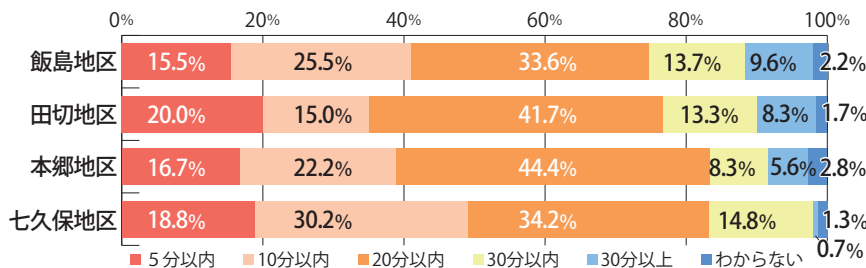
アンケートの詳細は、町ホームページをご覧ください。

(「都市計画マスタープランの改定と立地適正化計画の策定について」のページ)



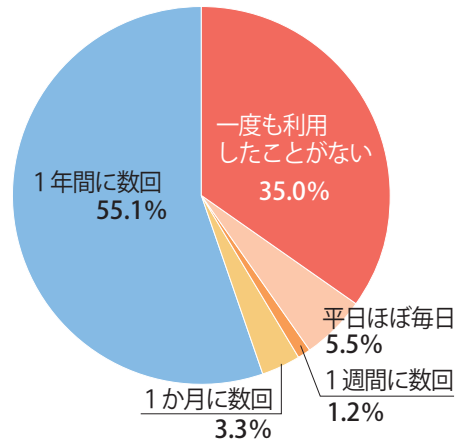
◇公共交通機関の利用状況について

J R飯田線 最寄り駅までの徒歩での所要時間

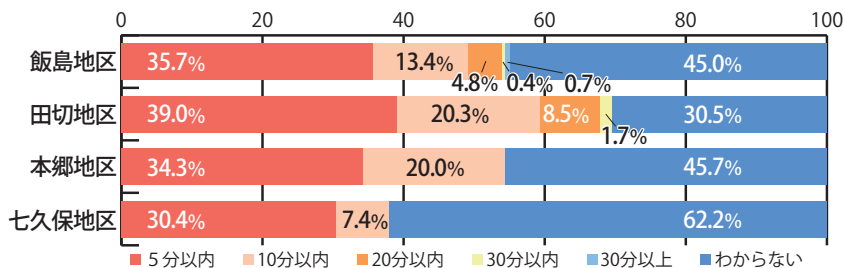


利用頻度は、1年に数回が55.1%、一度も利用したことがないが35.0%と多く、平日ほぼ毎日の利用は5.5%に留まっています。最寄り駅までの徒歩での所要時間はどの地区も20分以内が最も多くなっています。

J R飯田線の利用頻度

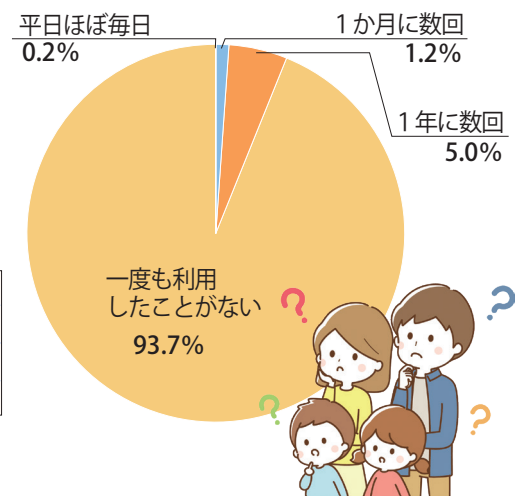


いいちゃんバス停までの徒歩での所要時間



利用頻度は、一度も利用したことがないが93.7%、1年に数回が5.0%で利用者が限られていることが伺えます。バス停までの所要時間はわからないの回答も多く、特に七久保では62.2%と高い値を示しています。

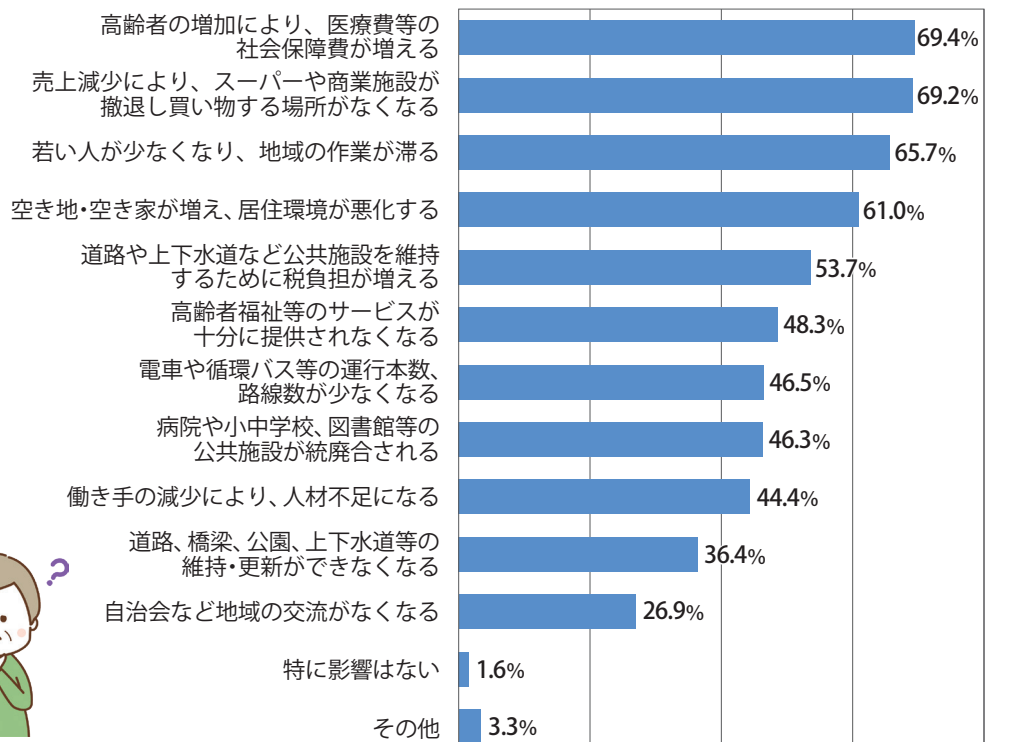
いいちゃんバスの利用頻度



◇町の将来像について

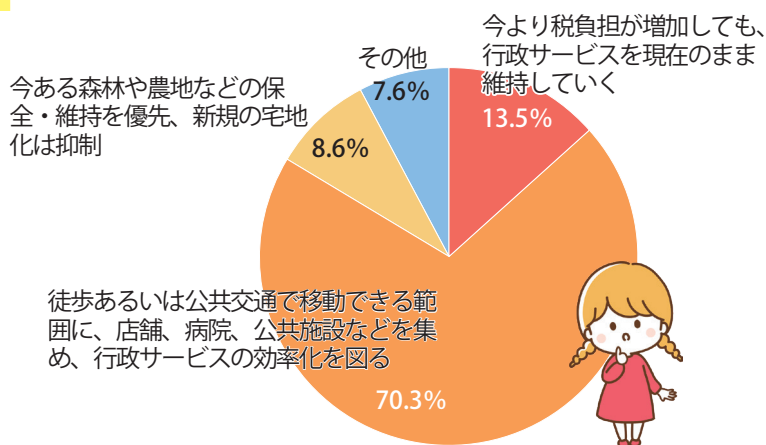
●人口減少と高齢化社会の進行に伴い、将来あなたの身の回りや日常生活に影響が及んでくると思われること、不安に思うことについてお答えください。

「医療費等の社会保障費が増える」、「買い物する場所が無くなる」が70%弱で最も多くなっています。また、「若い人が少なくなり地域の作業が滞る」、「空き地・空き家が増え居住環境が悪化する」の項目が60%を超え、少子高齢社会に起因する影響についての認識が高いことがわかります。



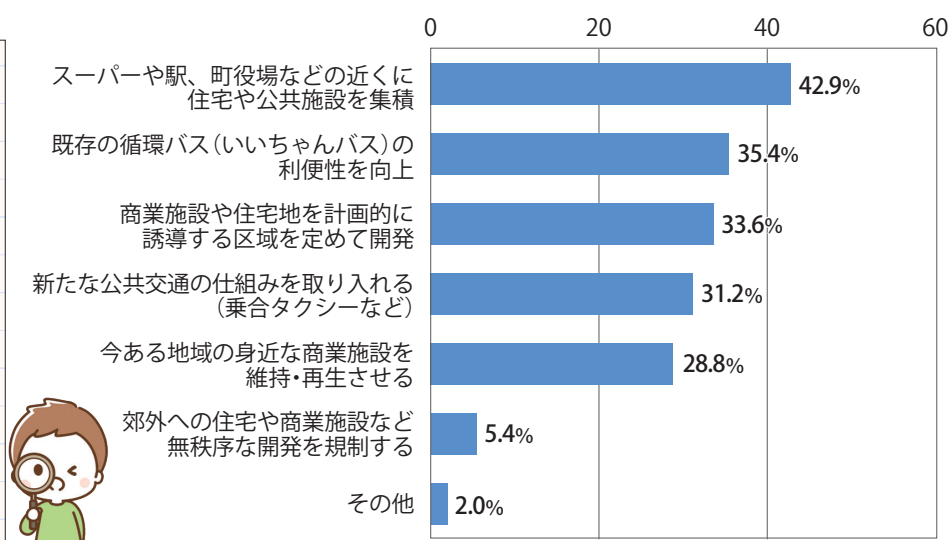
●前の問いで示したような不安や問題を未然に防ぎ、町が引き続き発展を遂げていくためには、今後どのような行政サービスを行っていくべきだと思いますか？

「徒歩あるいは公共交通で移動できる範囲に店舗、病院、公共施設などを集め、行政サービスの効率化を図る」が70.3%で最も多く、
「今より税負担が増加しても、行政サービスを現状のまま維持していく」は13.5%に留まっています。



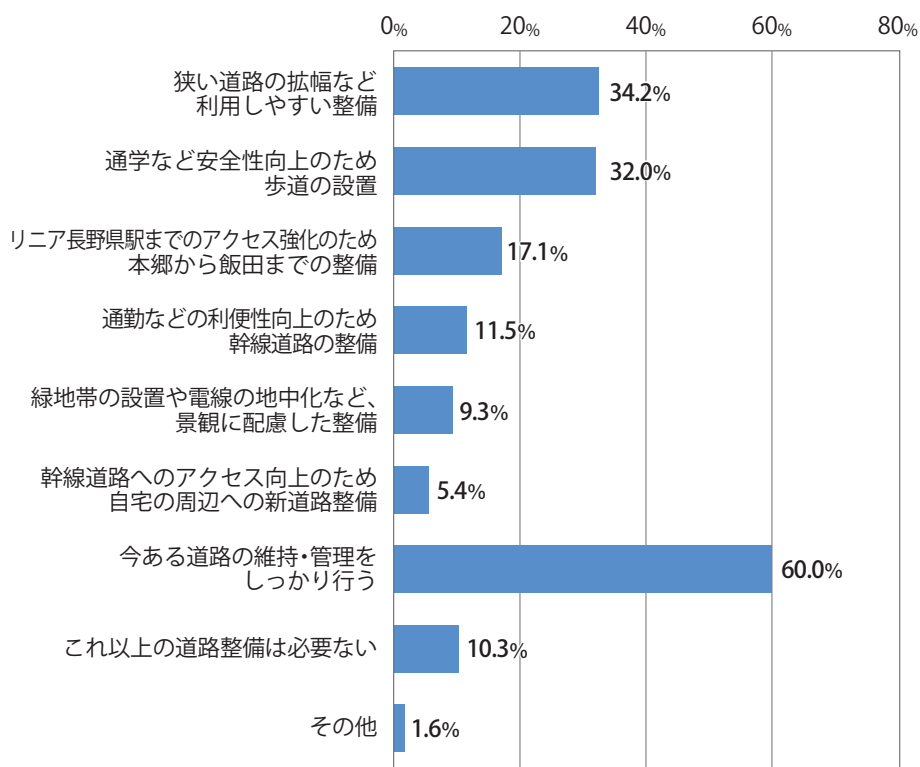
●高齢社会における移動手段の確保のため、公共交通を維持し、生活に必要な施設を集積させる「コンパクトシティ」形成の必要性が指摘されています。このことについて重点的に行うべきまちづくりは何だと考えますか？

「スーパーや駅、町役場などの近くに住宅や公共施設を集積」が42.9%で最も多くなっています。
次いで「既存の循環バスの利便性を向上」が35.4%で、
「新たな公共交通の仕組みを取り入れる」の31.2%を合計すると66.6%となり、
移動手段に関する施策への対応が求められていることがわかります。



●限られた財源の中で、これからの道路整備について、どのような事項を優先して進めていけば良いと考えますか？

「今ある道路の維持・管理をしっかりと行う」が60%と突出して多く、次いで「狭い道路の拡幅など利用しやすい整備」、「通学など安全性向上のための歩道の設置」が30%を超えて、既存道路の改良が求められていることがわかります。



◇アンケートの結果を踏まえて…まちづくりの課題の整理

アンケート結果（一部抜粋）に加え、飯島町の都市計画に関わる各施策への重要度・満足度等の回答から、主に次の6項目がまちづくりの課題として考えられます。
寄せられたご意見等を検討に活かして、計画を策定していきます。



- 1 移動が少なく快適に住み続けられるコンパクトなまち**
少子高齢化社会を迎え、商業施設や行政機関の集約の必要性や多様な移動手段の必要性を実感している意見が多いことから、移動が少なく快適に住み続けられるコンパクトなまちづくりが必要である。
- 2 商業施設の誘致や買い物対策**
商業施設に関しては多くの意見がある。特に移動手段が限られる高齢者にとって買い物は大きな問題であり、商業施設の誘致や買い物対策が必要である。
- 3 公共交通施策の見直しによる便利に暮らせる環境づくり**
公共交通機関の利用頻度の低さに対して、公共交通網の充実やＪＲ飯田線の利用促進と存続を求める意見が多いことから、公共交通施策の見直しによる便利に暮らせる環境づくりが必要である。
- 4 道路整備・管理の重要性和街灯の整備**
道路整備・管理に関する意見が多いことから、しっかりとした維持管理や狭い道路の拡幅、歩道や街灯の整備など、生活に密着した道路整備が必要である。
- 5 若者支援、子育て・学習支援、移住・人口減少対策**
移住促進のための若者支援、子育て・学習支援などは、人口減少対策として必須な施策となっており、取り組みが必要である。商業・娯楽施設、働く場の誘致への要望が多くみられるが、これは人口増加策、若者の地元定住策として有効的との認識が高い。
- 6 既存コミュニティの維持**
人口減少や高齢化により自治会の維持が困難になってきているとの意見がある。今後、地域コミュニティ維持のための取り組みが必要である。また、自治会と行政の役割分担の見直しや組織のあり方検討等が必要である。



『飯島町のまちづくりを考えるワークショップ』開催

自分たちの住む地域の“魅力”と“課題”について考え、“暮らしやすい飯島町に必要なもの・こと”を話し合うワークショップを開催します。
特に次代を担う若者の参加者を募集しています。
ぜひ会場へお越しください。

■開催日時

- ① 8月17日（土）午前10時～11時30分
- ② 8月22日（木）午後7時～8時30分
- ※両日とも同じ内容で開催します。

■会場

飯島町文化館 中ホール

■参加対象

町内に在住・在勤・在学している方

■参加申し込み

建設水道課窓口、電話、ファクシミリまたは次の2次元コードからお申込みください。

飯島町役場 建設水道課 調査計画係

【電話】0265-86-3111

【ファクシミリ】0265-86-2051



▲申し込みフォーム（Googleフォーム）

<https://forms.gle/m1qovrmdW3tFcHox5>